



虐殺から30年目のルワンダ

～義足づくりで国の復興を共に目指す～

ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクト

ガテラ・ルダシングワ・ エマニュエル さん

幼い頃、病気の治療ミスのため右足が麻痺し、カトリック神父が設立した障害者の施設で育つ。その神父の「弱者に対して手を差し伸べる気持ちを持って」という意思を引き継ぎ、現在の活動を進めている。1980年代、ルワンダの紛争を避けるためにケニアに逃れ、アフリカ民芸品を卸しながら過ごし、真美氏と出会う。1994年のルワンダ大虐殺終結後、ルワンダに戻り、1996年 NGO ムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立。障害者への義肢装具提供と共に、障害者スポーツの普及に力を注ぐ。



ルダシングワ真美 さん

1989年ケニア・ナイロビにあったスワヒリ語学校に半年間留学。その後、東アフリカを旅行中にガテラ氏と出会い、ルワンダ大虐殺やルワンダの障害者の状況を聞き、義肢装具士になることを決意。1992年より横浜の義肢製作所に弟子入りし、義肢装具士の国家資格を取得。1996年ガテラ氏と共にムリンディ/ジャパン・ワンラブ・プロジェクトを設立、翌年には義肢製作所を設ける。義肢装具の製作、義肢装具士の育成、障害者スポーツの普及・障害者に対する職業訓練などの活動を進めている。

5月28日(火)

5限 16:00～17:30 VOLAS (研究講義棟206-1)

東京外国語大学 学生限定 (@tufs.ac.jp のアドレスが必要)

申込締切:5月28日(火)12:00

*当日参加もOKです (定員に達した場合は事前申込者を優先します)

申込みフォーム→ <https://forms.gle/JKZ3KJQG7T6Nxew49>



お問い合わせ:ボランティア活動スペース(VOLAS) volas@tufs.ac.jp

主催 ボランティア活動スペース(VOLAS)・社会連携マネジメント・オフィス